

Diario de las especies

種の日記



著者: [Claudia Apablaza クラウディア・アブラサ](#) [1]

出版社: [Barataria バラタリア](#) [2]

言語: スペイン語

発行年: 2010

ページ: 176

刷数: 1

定価: 13.50 €

ISBN: 9788492979028

ジャンル: 文学

AUTUMN

2011

シーズン: 秋 2011

2008年にチリのランサジャマス社とメキシコのフス社で最初に出版された本書『種の日記』は、チリ人作家クラウディア・アブラサがこれまでに発表した小説の中で最も興味深い作品である。著者が影響を強く受けた作家は、エンリケ・ピラ=マタスとロベルト・ボラーニョのふたり。もっと正確に言えば、『バトルビーと仲間たち』と『野生の探偵たち』の2作である。本書はブログとそれに対するコメントの形態をとり、そのやりとりがだいたい増大していく。また、最後に「人物一覧」という項目が添付され、その息苦しいほどの文字の羅列はまるで寓意的な暗号である。どこか航海日記に似た趣もある。仮想のウェブ世界の中を航海する船には、ブログの書き手が提起する小説に関するさまざまな問題がちりばめられ、そうした問題に対するバーチャルスペースの訪問者のコメントを通じて、無数の声の主の横顔が描きだされる。

翻訳権の窓口会社名: EDICIONES BARATARIA S.L. バラタリア

CIF: B91722694

所在地: Barcelona

担当: Manel Edo マネル・エド

電話: 934532553

メール: administracion@barataria-ediciones.com [3]

URL: <http://www.barataria-ediciones.com/> [4]

その他受賞、批評:

2008年国民賞（優良出版部門）

2008年イタリア優秀翻訳賞

2009年セビーリャ図書協会賞、

Source URL: <http://www.newspanishbooks.jp/book-jp/diario-de-las-especies>

Links:

[1] <http://www.newspanishbooks.jp/author-jp/claudia-apablaza>

[2] <http://www.newspanishbooks.jp/publisher-jp/barataria>

[3] <mailto:administracion@barataria-ediciones.com>

[4] <http://www.barataria-ediciones.com/>